

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172000655		
法人名	総合ケアサービス有限会社		
事業所名	グループホーム ひまわりの丘 (ユニット:ひまわり)		
所在地	小樽市住吉町5番22号		
自己評価作成日	平成29年2月1日	評価結果市町村受理日	平成29年3月22日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0172000655-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0172000655-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ		
所在地	江別市大麻新町14-9 ナルク江別内		
訪問調査日	平成29年2月9日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

昨年11月に事業所が移転し、新グループホームひまわりの丘となりました。小樽市住吉町にあり、近くには小樽運河やメルヘン交差点など小樽を代表する観光名所があり、大変賑やかな地域になっております。また、市立病院や協会病院といった総合病院が徒歩圏内にあり、安心して生活が送れる環境になっております。JR南小樽駅があり交通の便も非常に良い所です。利用者様18名の生活の場があり、一人ひとりの意思や尊厳を大切にして、楽しく安らぎのある生活が送れるよう共に支えています。建物内には、介護職員を養成する学校があり、次代の介護職員を育成しております。利用者様やそのご家族の方にいつも笑顔で居てほしいと思い、職員一同日々サービスの質の向上に努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は、JR南小樽駅に近い商業地域に位置し、静かで海の風が感じられる落ち着いた環境で、バス停も近く、近くに総合病院があり交通の便や近隣施設など申し分のないところに立地している。昨年11月に緑1丁目から住吉町の新事業所に移転し、観光地に隣接しているが駐車場は広く利用者家族には面会するにはとても有りがたい所です。共用空間は食堂と居間が分かれていて、広くて明るく利用者が寛げる間取りとなっている。1ユニット9名の利用者に対し1部屋(予備室)多く10室作っており 短期入院の利用者が戻ることが出来る個室の確保と新規の短期入居者のニーズに答えることが出来るシステムを作っている。職員は明るく笑顔で、全員資格を持っており更なる上位資格獲得へ向けて研修に努め、積極的に現在の仕事に取り組んで利用者家族から大きな信頼を受けている。移転に関して町内との交流を始めており当事業所、大型総合病院、地域住民、併設した「北海道介護福祉学院」との連携など 相互交流を通じて(医師による講演会、ミニ講座、緊急対策、介護手順など)地域交流・地域介護力を高める計画も進めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	各フロアに施設理念を提示し、職員が都度確認出来るようにしております。また、カンファレンス等の中で、尊厳や認知症の理解を深め、常に実践できるようにしております。	事業所理念はパンフレットとリビングに掲示し、法人理念は名刺に印刷している。2つの理念は月1回のフロア会議でフロアリーダーが理念の実践を取り上げ職員との意見交換を通じて全員との共有を確認している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	移転し、新しい地域ではありますが、運営推進会議などを通し地域との交流を深めていきたいと思っております。	移転後1回目の会議には町内会役員が出席していただき地域の一員として新年度から町内会や老人クラブへの入会、避難場所の提供など助言をいただいている。地域住民、事業所、大型総合病院と相互交流の場としての連携を構築している。	移転間もないが、地域との関わりについて一步一步努力され、地域との交流が深まることを期待する。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現在では行えていませんが、介護職員養成校も法人内で運営しているため、それをいかし地域住民向けの介護技術講習や、認知症の理解等の講演会の実施を考えております。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	概ね2カ月に一度運営推進会議を実施し、ご家族や町内会の方、地域包括支援センターの方達に参加して頂き、そこの意見を参考にし当ホームのサービス向上に努めております。	年6回開催し、利用者家族、町内会役員、地域住民、地域包括支援センター職員などが出席している。事業所報告、季節毎の感染症対策やミニ知識、行事、避難訓練時での消防署からの助言、アドバイスの発表、反省点の報告をして、意見や助言を得て、サービス向上に活かしている。	移転につき開催回数のズレが生じたが前年度の目標達成計画を実行中であり確実に実施することを期待する。また地域、交通など物理的な条件が変化したことで利用者家族を含めた地域住民など新たな構成メンバーの構築と多くの参加を期待する。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	日頃から市の担当者と連絡を密に取り、サービスの取組について報告して助言等を頂いております。また、その時その時で課題になっている事についての研修会等の提案を行っております。	運営推進会議開催の来所時に事業所の状況を説明し把握してもらっている。小樽市主催のGH連絡者会議に出席し意見交換や情報を得るようにしている。当事業所に研修会場があるので地域住民を含む多目的な利用が可能であり役所には利用方法の検討をいただいている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的な研修会を開催し、日常的に意識してもらう取組や啓発活動に取り組んでおります。	職員は身体拘束の弊害を理解している。月1回の内部研修会の中で資料を用いて身体拘束を取り上げている。玄関施錠は夜間だけで見守りは室内と事務所受付で行っている。行動抑制の不適切な言葉はその都度職員間で注意をすることが出来る環境を作っている。夜間は巡回とポータブル無線コール機を使用している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	リスクマネジメント委員会を設置しており、その職員を中心に虐待防止に努めております。また、研修会も定期的に行い職員間でお互いに注意し合える関係性作りにも取り組んでおります。			

グループホーム ひまわりの丘 (ユニット:ひまわり)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要性のある利用者様やご家族のいらっしゃる利用者様には他職種と連携し、成年後見制度の活用を支援しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者様やご家族様に対し、契約書や重要事項説明書の内容に沿って説明をしております。また、不明な点等があった場合に随時説明を行っております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様からは生活の中で都度意見をお聞きしております。ご家族様に対しては面会時や電話連絡で意見を伺っております。意見のあった内容については早急に対応できる体制を取っております。	日々の会話などから利用者の思いや意向の把握に努め、家族とは面会時での意見や要望は介護記録簿に文書として残しておりそれを見ることで管理者と職員は情報を共有している。ケアプラン作成時には特に時間をかけて利用者、利用者家族の要望を聞き取るように努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員に関しては、定期的に面談の機会を設け意見を伺っております。その他に、日常的に職員が意見の言い易い環境作りを心掛けています。そこで出た意見を反映出来るよう努めております。	年2回の定期面談と別に要望があればいつでも相談が出来るような環境を作っている。仕事上の話しや気付きアイデアなど多岐にわたり内容により業務改善委員会で議題として取り上げている。実例として業務時間の見直しや4週8休など検討中である。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	6ヶ月に一回以上個別の面談を行い、自己目標の設定や自己評価の機会を設けております。その自己目標を共有し、目標が達成できるよう職場環境の整備に努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム内外の研修会参加を促し、出来るだけ多くの職員が参加できるよう調整しています。また、職員に内部研修担当をもらい知識の向上やコミュニケーション能力が向上していけるよう取組んでおります。キャリア段位制度を導入し、個々の能力向上に努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修時に、グループワーク等で意見交換をして親睦を深めております。他事業所の運営推進会議や行事等に参加し、互いにサービスの質の向上に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始当初においては、積極的に関わりを持ち、不安や困り事がないかどうかを本人の表情や言動を観察し早期に気づけるよう心掛け、良好な関係性が築けるよう取組んでおります。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	主に管理者が面談等を通して要望を聞き、その要望に沿った支援を行っております。それにより、信頼関係が築いていけるよう努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	要望等を聞いていく中で、早急に改善が必要なところから対応するよう努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活において、利用者様の残存能力や意欲に応じて、お茶配り等の家事を行っていただき、助け合いながら生活をしていると思ってもらえるよう心掛けております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会の際には、ご本人と落ち着いた雰囲気でお話ができるように工夫しております。また、生活の中の思いや要望等を報告し、ご家族様と情報を共有するよう努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前から通われていたお店や美容室等の馴染みの関係性を尊重し、入居後も通えるよう支援しております。また、友人等への電話連絡などの機会を設けられる環境にしております。	地域性もあり美容院と利用者の相互交流期間が長く継続できるように送迎支援を行っている。要望があれば事業所の電話を利用できるようにダイヤルアップ支援をしている。面会者にはお茶やお菓子など提供しゆっくり会話ができるように配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの利用者様の特徴を理解し、行事等で利用者様同士の関わりが増えていくよう取組んでおります。また、共有スペースでの座席についても、円滑なコミュニケーションが図れるよう配慮しております。		



グループホーム ひまわりの丘 (ユニット:ひまわり)

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	いつでもホームに来所してもらえるように声を掛け、ご本人やご家族様を出来る限り支援できるように努めております。			
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの想いや希望を聞いております。困難な場合は、ご家族様や友人の方から以前の様子や想いを伺っております。	入所時のアセスメントシートで把握しており新たな情報は書き足すようにしており全員で共有している。困難なときは管理者と職員は会議の中で介護記録簿を用いて話し合い推察するように努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時にご本人やご家族から出来るだけ詳しく生活の様子をお聞きしております。入所後もご本人やご家族、ご友人からも話をお聞きしております。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活状況、心身の状態を把握し、利用者様の表情や言動などを都度観察して介護記録に記録し、現状の把握を行っております。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	常に利用者様の状態観察を行い、変化があった際に早急にかつねを開催し、課題の改善に向かう介護計画の立案を行っております。	ケアマネは主治医や家族、利用者から情報や意向を聞き利用者の状況に合わせ介護計画を作成し、サービス担当者会議で発表、担当者を決め全員でモニタリングを行うように努めている。作成した計画書は都度利用者家族に説明同意印を得ている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	認知症ケア記録KCISで記録をしており、適宜アセスメントやモニタリングを行い、出来る限り見直しが出来よう取組んでおります。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	現在はそのような機会がない為取組んではいませんが、今後そのようなニーズがあった際に対応したいと考えております。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者が安心して町内へ出かけたり、地域の方達と交流がもてるよう積極的に交流を図っていきたく思っております。			
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医への通院は、職員が必ず付き添いを行っております。ももとの医療機関や希望の病院をご本人やご家族に確認し、医療を受けることが出来るよう行っております。	利用者、家族が希望するかかりつけ医に受診できるよう支援している。事業所の看護師は利用者のバイタルチェックを行い健康管理をし体調変化に早めに対応している。訪問診療の内科医はほぼ毎日のほか歯科医が行っている。インフルエンザ予防接種は当事業で行い職員は全員、利用者は本人本位としている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	申し送り時は、看護師も同席し日々の状態を把握しております。必要に応じて医療機関等への報告を行っております。また、看護師が記載する経過支援記録で日々の情報収集を行っております。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、心身の状態の報告はもちろん、日常生活のことについて事細かく報告しております。また、病院に面会へ行き入院中の状態についての確認をしております。			
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期ケアの実績はないですが、ご本人やご家族の希望、医師の判断により、ご本人やご家族に十分な説明を行ったうえで、出来る限りの支援に取組んでおります。	重度化については入所時に文書と口頭で当事業所で出来るサービスの種類や範囲を説明し同意印を得ている。状況の変化は早い段階で看護師が判断し主治医に相談することで、話し合いを行い家族を含めたケアを提供するように努めている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防で行っている普通救急救命の研修に参加し、職員が緊急時の対応を速やかに行えるよう取組んでおります。また、消防職員に来て頂き、内部での研修会を実施しております。緊急連絡網を明確にしており、適切な対応が取れるようにしております。			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	昨年11月に施設が移転し、日中帯を想定した火災避難訓練、夜間帯を想定した火災避難訓練を実施し、火災時に速やかに避難が出来るよう取り組んでおります。また、地震等の訓練も実施予定になっております。地域住民の方に対しては、運営推進会議等で協力の依頼を行っております。	年2～3回消防職員立会いのもとで実施している。終了後指導、アドバイスがあり運営推進会議で報告している。新しい環境のもと緊急連絡自動通報登録の申請や、避難移動方法や避難場所など町内会を通じて消防団や住民の避難訓練への参加や協力をお願いしている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	それぞれの利用者様の性格や、認知症の状態や種類に合わせ柔軟に対応しております。特に言葉使いに配慮するよう気を付けております。	利用者の尊厳を大切と認識し年長者として敬意を払い馴れ合いからくるぞんざいな言葉を使わない配慮をしている。不適切な言葉は都度職員同士で注意をする様に努めている。入所時にプライバシー、個人情報、写真掲載等説明し同意印を得ている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ゆっくりと時間を掛け、利用者様の思いを知るようにし、ご本人の希望や要望が言い易い環境作りを行っております。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	1日1日利用者様のペースに合わせた生活が出来るよう気持ちの把握に努め、出来る限り希望に沿った支援が出来るよう取組んでおります。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者様に、洋服を選んで頂くようにしております。また、お化粧品用品類については以前から使用してる物を使い続けて頂けるよう取組んでおります。			

グループホーム ひまわりの丘 (ユニット:ひまわり)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節ごとにお楽しみメニューをお出ししております。その際に、利用者様に食べたい物の聞き取り献立を作成しています。味見や食事の盛り付け等を一緒にしております。	食材配送業者に委託し、利用者は能力に合わせ、盛り付け、配膳などを行っている。アレルギー食材は入所時に把握している。誕生日や季節にあった行事食を提供し、外食は行事担当者が利用者からの要望を聞き立案している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材配送業者に委託しているため、栄養バランスを考慮した食事を提供しております。水分提供時には、計量カップを使用し、正確な飲水量の把握に努めております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食時の口腔ケアの実施は出来ておらず、昼食後や就寝前のみの実施になっております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄のデータを取っており、排尿間隔を把握し必要に応じて排泄の声掛けを行う等、排泄の失敗が無いよう出来る限り行っております。	利用者の半数以上が自立排泄することが出来 職員は合図、動作など見逃さないように努めている。さり気なく目立たないような声掛け誘導を実践しており排泄時の立会いにも配慮している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	もともとの体質や運動不足が原因の利用者様には、体操や歩行運動を促しております。また、水分を多めに飲むなど便秘の予防に努めております。		
45	17	○入浴を楽しむことのできる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	利用者様の希望に沿って、同性介助が行えるようにしておりますが、入浴の時間帯等は職員が決めた時間帯での入浴になっております。	週2回を基本としているが利用者本位と考え要望に沿う様に配慮している。入浴を嫌がる事はなく同性介助を実践している。入浴剤を使用しており入浴中積極的に会話をし利用者の思いや意向を汲み取るように努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	休息や睡眠についてはご本人の希望に沿い対応しております。また、夜間帯に物音や足音をたてない等の環境にも配慮しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬マニュアルを厳守し、個別の状態に合わせた支援を行っています。薬の内容等の情報はファイルに保管しいつでも閲覧出来るようにしております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	行事を1ヶ月に1回以上計画し、生活にメリハリをつけ、楽しみを持って頂く様に取組んでいます。		

グループホーム ひまわりの丘 (ユニット:ひまわり)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	当日直ぐには対応する事が困難な状況が多いですが、出来る限り早急に対応できるよう、職員と管理者で相談し合い対応しております。また、状況によってはご家族様に協力して頂き、ご本人に満足していただけるよう行っております。	地理的な要因が大きく観光小樽の名所に隣接し新たな環境での交流も期待でき日常の散歩、外出及び外食には大変便利である。事業所には軽自動車と法人所有の車椅子2台対応8人乗りワゴン車があり外食、花見、落葉など季節行事に出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様一人ひとりの経済状況を把握し、その範囲内で使用出来るよう支援しております。また、お金の所持を希望される方には、ご家族に報告した後、数千円程度所持して頂いております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人やご家族、知人から希望があった際には、電話や手紙でやり取りが出来るよう支援しております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日の掃除や衛生管理はもちろん、季節を感じられるような装飾の変更や配慮が行われております。また、共有スペースのテレビの音量、電気の明暗、温度や湿度などに配慮し行っております。	バリアフリー構造で廊下、居間とも広く出来ており食事スペースとくつろぎスペースに分け広さを生かしてテーブル、ソファ、テレビ、観葉植物等を配置している。室内装飾は季節飾りを含めシンプルに仕上げ生活観を出すようにしている。カラオケもありイベントは1階と2階で交互に行い変化を持たすように努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様同士の関係性には常に配慮し、変化があった場合にはすぐにカンファレンスを行い席替えなどの対応を行っています。また、一人ひとりが居たい場所に居られるよう支援しております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内の家具はご本人が使い慣れた物を使用して頂き、落ち着いた雰囲気的空間になるよう工夫しております。	使い慣れた家具やベットを持ち込み、清掃、整理整頓がよく行き届いており清潔感がある。居室は5畳ほどであり温水暖房機、無線コールボタン、TV配線が設備され程よい空間である。室温など生活環境は職員が管理し、内部施設ができてプライバシーにも配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共有スペースは、整理整頓出来るだけ心掛け、利用者様が混乱しないよう配慮し、居室には個々の名札を付け迷わないようにしております。廊下には手すりを設置し、移動が安楽に出来るよう配慮しております。		